

取扱説明書

シン・脱ロウ器

シングルType ・ ツインType

- ・ 梱包内容・部品名・前準備・・・・・・・・・・ P2
- ・ 脱ロウ（開リン埋没フラスコ）・・・・・ P3 ～ P6
- ・ 汎用フラスコの埋没～脱ロウ・・・・・・・・・・ P7
- ・ 無開リン埋没法・・・・・・・・・・・・・・ P8 ～ P9
- ・ メンテナンスについて・・・・・・・・・・・・ P10

※鍋寸法

・ シングル・・・・・・本体直径 22cm ・ ツイン・・・・・・本体直径 26cm

※熱湯及びフラスコが設置された鍋本体の移動は避けて下さい。

アルテイシア株式会社

〒578-0982 東大阪市吉田本町 1-13-28 D号
TEL: 072-920-4235 /FAX: 072-929-8110

アルテイシア株式会社

【シン・脱ロウ器】 梱包内容・部品名

シングル

鍋 (22cm)

1 個

脱ロウ・ユニット

1 体

枠

1 個

フタ

1 個

ピックアップ

1 個

給水ゲージ

1 個

沸騰制御板

1 個

・ wax 回収カップ / 1 個

・ 6 角レンチ (#2・#3・#4) / 各 1 個

・ スパナ (#7-#8) / 1 個

・ 耐油グローブ / 1 双

ツイン

鍋 (26cm)

1 個

脱ロウ・ユニット

1 体

枠

2 個

フタ

2 個

ピックアップ

1 個

給水ゲージ

1 個

・ wax 回収カップ / 1 個

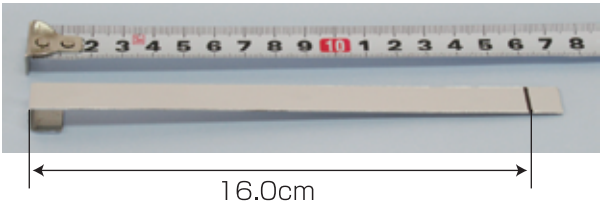
・ 6 角レンチ (#2・#3・#4) / 各 1 個

・ スパナ (#7-#8) / 1 個

・ 耐油グローブ / 1 双

【給水ゲージ・前準備】・・・給水ゲージは、準備段階で鍋への給水量の目安になります。予めご使用のフラスコの水位ラインを油性ペンで記入して下さい。(初回のみ)
ゲージ寸法は、多少の水の入れ過ぎを考慮して低めに設定しておりますので、お好みに合わせて調整して下さい。

	ドリーム アンカー	MIS フラスコ	レジナート フラスコ	ジェット フラスコ		汎用 フラスコ
シングル	16.0cm	16.0cm	16.5cm	16.5cm		15.0cm
ツイン	13.5cm	13.5cm	14.0cm	14.0cm		12.0cm



【例】ドリームフラスコ / シングル Type の場合
折り曲げ部先端から、16.0cm にラインを記入します。
(水位ゲージの全長は、17.0cm です。)

【試し焚き】・・・脱ロウユニット・部品及び鍋は、ステンレス製品です。各素材はクリーンカット等の加工処理を行っておりますが、微細な油性分等の付着がある場合がありますので、運用前の**試し焚き**を行って下さい。同時に、取説に準じてシュミレーション作業を行って下さい。(任意)
【脱ロウ・ユニット】・・・溶接部品 (フラスコ槽) の表面にシミがある場合が有りますが、溶接焼け除去処理後の色です。錆や汚れではありません。

射出成型用フラスコ（開リン埋没法）

水位ゲージ

【1】 鍋に給水する。(準備給水)

・ (給水ゲージ) を鍋の淵に引っ掛けて内面側にセットする。
・ (給水ゲージ) のラインまで給水する。

シン・脱ロウ器は、一定の水位で脱ロウします。
フラスコを湯に入れると水位は上昇します。
その水位を計算して (給水ゲージ) の位置を設定しております。
最終的な給水及び水位の調整は、脱ロウ前にもう1度行います。

【2】 沸騰制御板の設置 (シングルのみ)

①鍋に沸騰制御板を入れる。
※鍋底部に置いて下さい。
沸騰制御板・・・鍋底隅角部からの沸騰を中央方向に集める円板です。

ご注意：外力や衝撃による変形は厳禁です。
※ツイン Type には、設定がありません。

湯を沸かす。(コンロ：ON)

沸騰を確認したら、火器を停止する (コンロ：OFF)

脱ロウ
ユニット

フラスコ槽

【3】 本体準備

②脱ロウ・ユニットを入れる。
付属の (耐油グローブ) をご使用下さい。

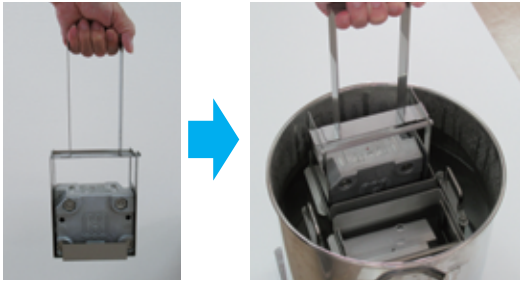
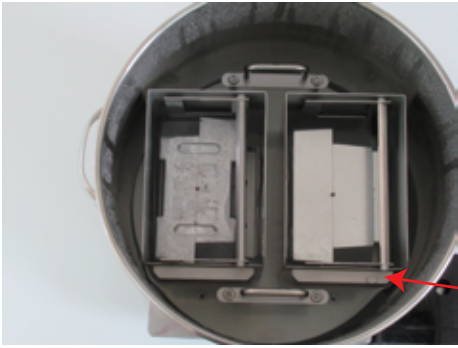
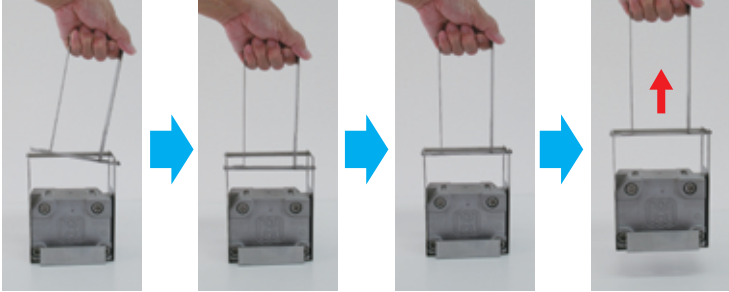
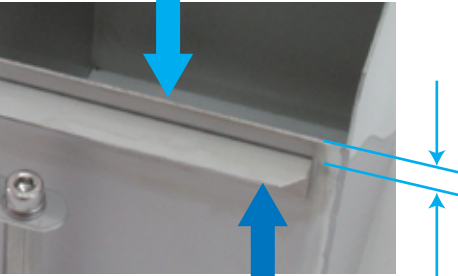
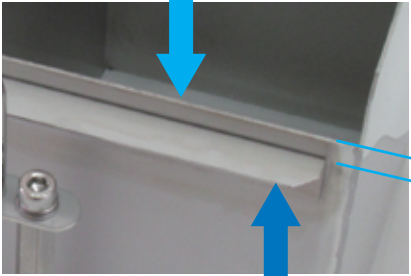
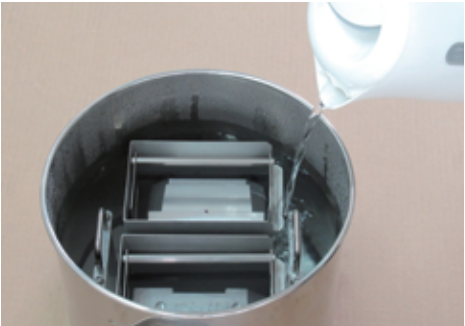
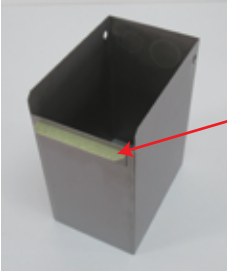
この時点ではフラスコを入れないでください。

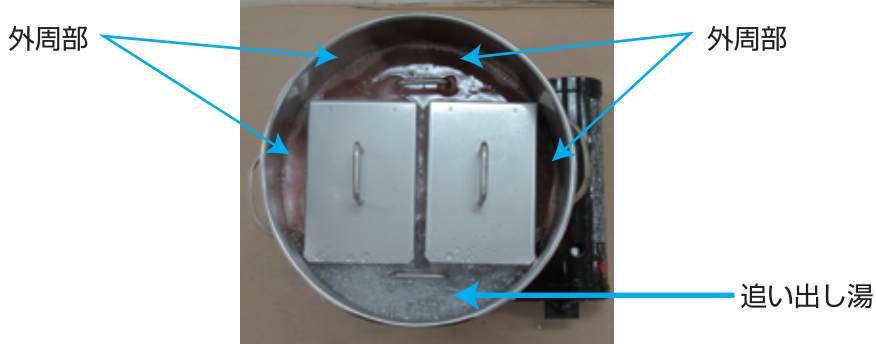
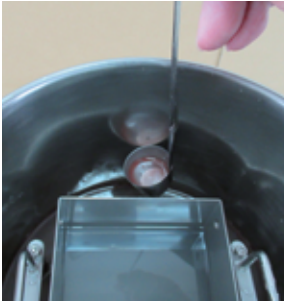
湯を沸かす。(コンロ：ON)

【4】 枠にフラスコをセットしておく。
(フラスコの注入口を下側になるように設置してください。)

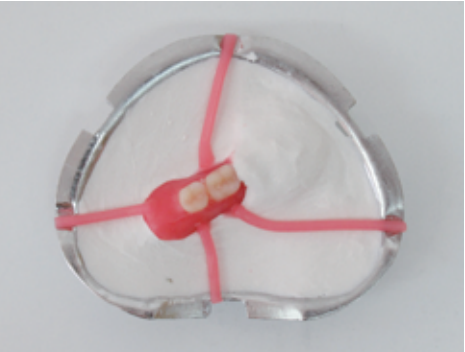
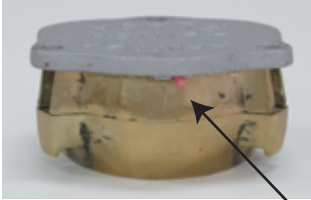
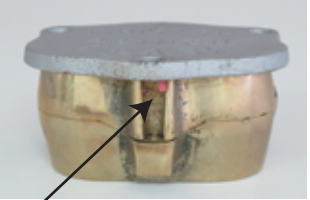
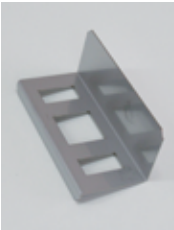
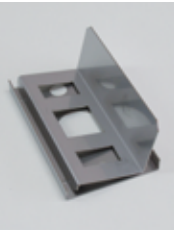
2

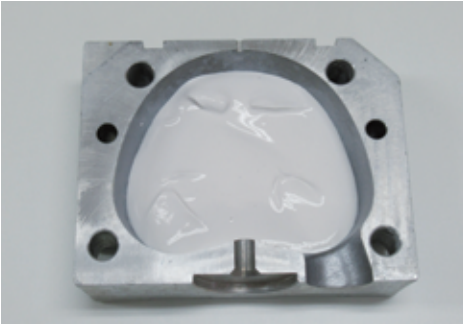
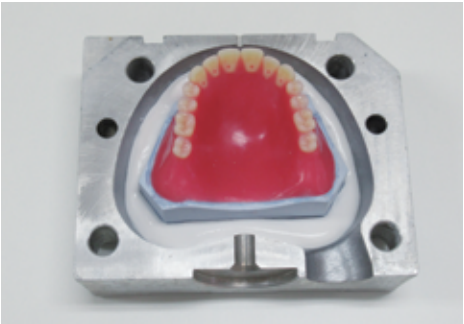
3

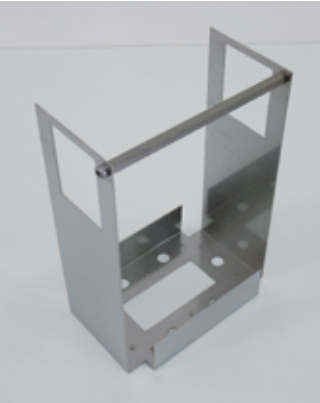
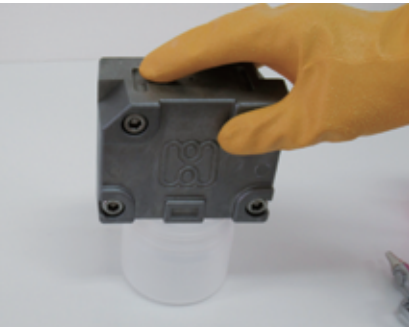
沸騰を確認したら、火器を停止する（コンロ：OFF）	
 	【5】脱ロウ・ユニットのフラスコ槽にフラスコを入れる。（+枠） センター位置に置いてください。 必ず、付属の（ピックアップ）を使用してください。   A プレート=Aライン
Bライン  Aプレート  	【6】（差し湯調整）・・・Aプレートまで熱湯または水を入れて水位を調整する。 Aプレートまで給水する。 （給水許容範囲：Aプレート上面とBラインの間） ・脱ロウ槽内にゆっくりと、給水してください。  黄色部分がAプレート （現物は黄色ではなく、金属色です。） POINT 熱湯を入れる事で、スムーズに脱ロウが出来ます。 （時間的ロスがありません。） 熱湯・・・電気ケトルを使用すると便利です。 差し湯 Aプレート 

	【7】フラスコ槽にフタをする。
湯を沸かす。（コンロ：ON）	
【8】脱ロウ時間について ◆再沸騰を確認してから10分間脱ロウする。 ・再沸騰したら、Aライン部から（追い出し湯）がでてきます。 脱ロウ中に融けた wax をフラスコ槽外に追い出します。  ◆火力調整について・・・脱ロウ・ユニットの外周部または、フラスコ槽外部に沸騰（ブクブク）が出てくる場合は火力調整を行って下さい。（少し弱火にする：MAX～中火の間） 目安：外周部の沸騰（ブクブク）が減少する範囲かつ、（追い出し湯）が出ている範囲で調整して下さい。外周部が強く激しい沸騰状態で脱ロウするとフラスコには影響ありませんが、wax が鍋底まで攪拌されフラスコ内に侵入する場合があります。 火力調整を行うことで、脱ロウ作業がスムーズに出来ます。	
脱ロウ完了後、火器を停止する（コンロ：OFF）	
	【9】フタを取りフラスコを取り出す。 ※フラスコ槽内にピッチや跳ね返りの為、wax が浮遊する場合がありますが脱ロウには支障ありません。
 	【10】wax の回収について 付属の wax 回収カップで溶融 wax を都度、汲み出す。 ・汲み出し回収を行うことで、wax の攪拌を防止出来る為スムーズな脱ロウが出来ます。 ※【コンロ：OFF +フタなし】で、行って下さい。

【11】 2 回目以降の脱ロウについて 脱ロウ作業で熱湯は、蒸発して水位が下がります。 毎回（差し湯調整）を行った後脱ロウしてください。（【6】 参照）	
【12】 ツインの水位について ※3 個以上の奇数個目フラスコは最後に脱ロウするとスムーズな作業ができます。 その場合、既に脱ロウ済のフラスコをダミー代わりに使えば大幅な水量調節は必要ありません。 ・ フラスコ 1 個脱ロウ後、フラスコ 2 個を（同時）脱ロウする場合・・・フラスコ 1 個分の容積量の湯を汲みだし てから脱ロウしてください。	
 	【13】 全ての作業完了後の wax の回収及び処理 ①脱ロウユニットが水没するまで給水する。（水） （給水 1）：フラスコ槽 A ラインまで、ゆっくり給水する。 ※必ずフラスコ構内 (wax 無水面) に給水してください。 wax 水面に給水すると、wax が沈み込みます。 水面が B ラインを越えると wax が全水面に浮遊します。給水と wax が衝突しないよう鑄造リングを次工程で使用します。 （給水 2）：鑄造リングを水面に半分浸けます。 鑄造リングの内側にゆっくり給水する。 水と wax の衝突がない為、wax の沈み込みがありません。 清掃作業がスムーズに行えます。 ユニットが水没したら、完了です。
 	②放置冷却（一晩放置して翌日処理が理想です。）
  	③固化した wax を取り出して水を捨てる。 wax 外周の箇所をトーチで軽く加熱する。（鍋の外周） POINT 軽く瞬間的に炎を当てると wax が軟化して分離します。 wax を指で押しながら行くと判断し易くなります。 数回に分けるとスムーズに行えます。 wax 回収 ※炎を当て過ぎると、wax が融けて鍋に残りますので注意してく ださい。 ④鍋の内面の wax 残渣が多い場合は、トーチ等で加熱して除去 してください。（拭き取る） ※少量であれば、wax 残渣が残っても、次の脱ロウには影響ありません。

汎用フラスコの埋没～脱ロウ（填入法につき、開リン埋没法です。）	
【1】 埋没 脱ロウ通路用のスプルー wax $\phi 3.0\text{mm} \sim \phi 4.0\text{mm}$ を付与して下さい ※義歯作製用のスプルー wax をご使用ください。キャスティング wax は、使用しないでください。	
ステンレスフラスコの場合 （4 ,4.5, 5インチ ：山八歯材工業㈱） 大栄歯科産業㈱） ステンレスフラスコは、上リン・下リンの合せ目に数か所の開口部があります。 その開口部と、ろう義歯をスプルー wax で繋いでください。脱ロウの通路になります。	
	  スプルー wax
フラスコ（真鍮）の場合 （4, 4.5, 5 ｲﾝﾁ: ㈱石川歯科器械製作所、(有)秋山歯科器具製作所） 上リンとフタ（蓋）の合せ目の凹凸部に間隙があります。 その隙間と、ろう義歯をスプルー wax で繋いでください。脱ロウの通路になります。	
	  スプルー wax
※フラスコは、一般医療機器（クラスⅠ）です。加工・改造は、しないでください。 その他、通常の埋没を行ってください。	
【2】 脱ロウ・・・マニュアルに従い脱ロウしてください。 P2 ～ P6	
脱ロウ時間・・・差し湯調整～再沸騰確認後、10 分～ 15 分間 フラスコ設置方法・・・汎用フラスコ治具（オプション）を枠の中にいれてフラスコを設置する。	
	        汎用フラスコ治具 組み合わせる 枠に入れる フラスコ設置
【3】 レジン填入・・・通常のレジン填入を行ってください。	

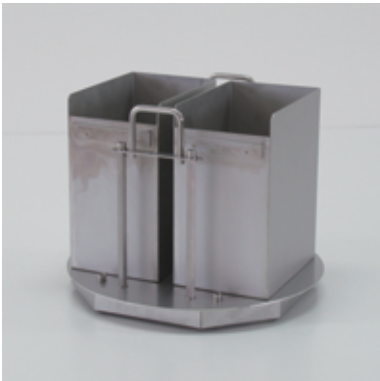
無開リン埋没法（クローズド法）の埋没～脱ロウについて	
石膏・スプルー wax 等は、各メーカーのマニュアルに従ってください。	
	【1】 埋没 ①下リン埋没・・・石膏をフラスコに少量注入する。
	②ろう義歯をフラスコ内に設置する。
	③スプルーイング ※MIS フラスコの場合、専用のベント孔がありません。 石膏注入孔側に（スプルー）wax を設けて下さい。
	
④人工歯脱落防止対策 高粘度ゼリー（ジェル）瞬間接着剤を人工歯に玉状になるように付与する。 硬化促進材もお使いください。	
⑤最終埋没	
【2】 脱ロウ ・・・無開リン埋没法（クローズド法）の脱ロウは、下記条件で実施してください。 【1】 スチーム式脱ロウ装置との併用の場合（ジェットクリーン・スチームウォッシュ：デンケン・ハイデンタル社） 1. スチーム式脱ロウ装置で仮脱ロウ（ロスト wax）を行う。 2. 【シン・脱ロウ器】で脱ロウする。 脱ロウ時間・・・基本 5 分間 仮脱ロウで、ほとんど wax が無くなっている場合・・・3 分間	
	
ジェットクリーン	

【2】 別の鍋でフラスコを焚いて仮脱ロウ（ロスト wax）をした場合 1. 別の鍋でフラスコを焚いて仮脱ロウ（ロスト wax）する。 2. 【シン・脱ロウ器】で脱ロウする。 脱ロウ時間・・・基本 5 分間 仮脱ロウで、ほとんど wax が無くなっている場合・・・ 3分間 【枠】（追加販売商品） 枠の底面には突起を付けています。フラスコ面と密着しない為、お湯の流れが発生します。 別の鍋でフラスコを焚く場合便利です。また、フラスコの移動も簡単です。	
	
	【3】 エアー乾燥 フラスコ内部の乾燥の為、スプルー孔よりエア어를吹き込む。 （約 30 秒）
	【4】 分離材の塗布（加熱重合レジンの場合） 熱可塑性樹脂の場合は、必要ありません。 ①フラスコのスプルー孔より（レジン分離材）を流し込んで満たしてください。 フラスコのベント孔をビニールテープで封鎖すると作業がはかどります。
	②フラスコを逆立てしてください。 余剰分の（レジン分離材）を排出します。 スプルー孔側を下向きにしてください。 ③約 30 秒～ 40 秒後、フラスコのスプルー孔よりエアールにてレジン分離材を排出する。 放置冷却

【メンテナンスについて】

シン・脱ロウ器には、O リング・シリコンパッキン等のシーリング材は使用しておりません。メンテナンスフリー商品です。

ただ、長期で使用にあたりボルト・ナット等の部材の締緩みが起こる場合がありますので、定期的なチェック及び工具（レンチ）による【増締】をお願いいたします。

	ツイン	シングル
※付属の 6 角レンチとスパナで 両がけ増締めを行って下さい。 		

注意事項・その他

1：火器コンロには、火力の幅があります。(高いー低い) 脱ロウ後、wax 残渣がある場合は、脱ロウ時間を延長してください。
(差し湯調整を再度行くと、より効果的です。)

2: ベースプレートについて

- ・脱口後、ベースプレートを取り出すと wax が残っている場合があります。
(特に、ベースプレートに直接スプリーングしたケース)
その場合は、熱湯で wax を流してください。

MEMO

[illegible]